

# 東京大学生産技術研究所・流体テクノ室



流体テクノ室は、東大生産技術研究所が港区六本木から現在地の駒場Ⅱキャンパスに移転したのに合わせて、2001年4月に創設された。当初より、生研内における物質、バイオ、ナノテクノロジー系の研究活動に必要なイオン交換水・窒素ガス・液体窒素・液体ヘリウムなどの特殊流体を、生研全体の各研究室に供給するインフラ設備として充足し、それら特殊流体の製造、供給、保安管理から関連する技術指導・開発等を行っている。

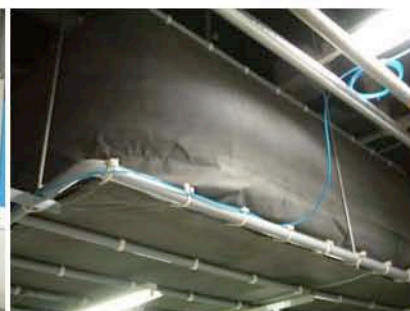
現在は、同じ駒場Ⅱ内の先端科学技術研究センターなどにも液体ヘリウムの供給を行っている。



ヘリウム液化用圧縮機



ヘリウム回収用圧縮機



回収用ガスバッグ

ヘリウム液化システム 2001年導入

ヘリウム液化機（内部精製器） TCF-20、40L/h

ヘリウム貯槽容器 CH1500（Wes社製）、1500L

液化用圧縮機 DS141、590Nm<sup>3</sup>/h 0.93Mpa

回収用圧縮機 C5N210GX（BH）、50Nm<sup>3</sup>/h

高圧Heガス乾燥器（2塔自動切換式）-65℃以下

長尺（Heガス貯蔵ボンベ） 960Nm<sup>3</sup>、14.7MPa

ヘリウム回収ガスバッグ 25m<sup>3</sup>

液体窒素貯槽 GE-13 × 2基

事業所の処理能力 1316.7 Nm<sup>3</sup>/日

貯蔵能力 2759.45 m<sup>3</sup>（2007/7現在）

<http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/~ryuutai/>

〒153-8505 東京都目黒区駒場4-6-1  
東京大学生産技術研究所 流体テクノ室